

令和7年度

### 神領小学校 「学力向上実行プラン」

#### 学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 基礎的・基本的な学力の定着を目指し「どの子にもよく分かる」授業の実践
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、地域や学校の特性を生かし、学ぶ喜びや達成感を味わえる授業づくり

校長

村松 由文

学力向上推進員

教諭 近藤 雅江

#### 【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

#### (1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>○課題にまじめに取り組み、基礎的・基本的な知識・技能が身に付いている児童が多い。</li> <li>○読み聞かせや読書タイムの確保により学校での読書の習慣が身につけている。</li> <li>●習得した知識・技能を活用して問題解決したり、多様な資料から必要な情報を読み取ったりすることに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的・基本的な知識・技能を様々な学習や生活の場面で活用することができる。</li> <li>・語彙力を増やし、言語活動の充実を図るために読書の習慣を身につけることができる。</li> <li>・多様な資料から情報を読み取り目的に応じて必要な情報を選び出すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の学習時間を活用し、基礎・基本の力を徹底するためにドリル学習や確認テストを実施する。</li> <li>・全校読書の時間や多読賞などを設けて読書への意欲を高める。</li> <li>・TT指導を効果的に行い、個に応じた指導を継続する。</li> </ul>	取組の継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の学習時間や授業中のまとめや復習として、ドリル学習や確認テストを実施し、基礎学力の定着に取り組んだ。知識技能の活用については課題である。</li> <li>・全校読書や週末読書、読み聞かせの時間や多読賞を設け、個人差はあるが読書への意欲を高めることができた。</li> <li>・TT指導を効果的に行い、支援の必要な児童への個別指導が継続できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末の活用、教員による即時採点などを行い、基礎的・基本的な知識技能の習得を図る。</li> <li>・学級文庫に教科書関連の本を増やす。</li> <li>・多様な資料(図書・新聞・インターネット)から目的に応じて必要な情報を比較したり選び出したりすることができるように、教材研究を行う。</li> </ul>

#### (2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>○意欲的に学習に取り組み、友達の意見をしっかりと聞き、自分の考えを伝えることができる児童が増えてきた。</li> <li>●友達の考えと比べながら聞き、自分の考えを根拠や理由を明確にして話したり書いたりすることに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に応じて自分の考えを根拠や理由を明確にして話したり書いたりすることができる。</li> <li>・友達の考えを自分の考えと比べながら聞き、自分の考えを再構築することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し方や聞き方を具体的に示す。</li> <li>・ペア学習での意見交換やグループでの話し合いを効果的に設定する。</li> <li>・自分の思いや考えを話したり条件に即して書く機会を設ける。</li> <li>・ICTを活用し、表現する場を設ける。</li> </ul>	取組の継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し方や聞き方の手本は示しているが課題が見られるので、取組を継続させる必要がある。</li> <li>・ペア学習やグループでの話し合いができた。</li> <li>・行事や体験活動後に積極的に書く活動を取り入れることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発言する時に、根拠や理由を説明する時の話型や例を示して具体的に指導する。</li> <li>・学習のねらいにそって効果的に意見交換や話し合いができるように工夫する。</li> <li>・高学年はタブレットの活用はできているが、条件に即して文章を書く力については引き続き指導する。</li> </ul>

#### (3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>○各教科の学習や家庭学習に、意欲的に取り組むことができている。</li> <li>●自分で課題を見つけて取り組んだり苦手克服に向けて学習に取り組んだりすることに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学ぶ楽しさを感じ、課題や自主学習に積極的に取り組むことができる。</li> <li>・自分の学びを振り返り、自らの課題を把握し、見直しをもって課題解決に取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や学校の特性を生かし、児童自ら考え主体的に判断したり表現したりする学習ができるように体験活動を取り入れる。</li> <li>・児童の実態を把握し、めあてや課題の設定を工夫する。</li> <li>・振り返りを行うことで課題に気づくことができるようにする。</li> <li>・家庭学習の手引きを示し、自主勉強等、家庭学習をうながす。</li> </ul>	取組の継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や学校の特性を生かし、児童が主体的に判断・表現する場面のある体験活動に取り組むことができた。</li> <li>・めあてや課題の設定はできたが振り返りについては課題が見られる。毎時間ではなくても、振り返りを行うことで教師の授業の振り返りにつなげることができた。</li> <li>・児童は家庭学習(宿題・自主勉強・生活習慣を身に着ける課題)に取り組むことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の振り返りについては、要所要所で取り入れたり、毎日「書く」ことで「書く力」の育成につなげられるようにする。</li> </ul>